

## 安心・安全のまちづくり懇話会

みたけの里づくり協議会

平成 23 年、24 年に地区内で孤独死が連続して発生した。また、孤独死を発見したものが地元住民ではなく、新聞販売の推進員であった。

地域の中で孤独死が発生したこと、発生した事象に地域の者が気付かなかったことを「大変大きな問題」と感じ、平成 24 年 3 月に、まち協、自治会、民生委員、民生協力委員、福祉委員を中心に行政（福祉担当）や地区内の各種団体も加わり、「安心・安全のまちづくり懇話会」を設立し、現在、対策についての協議を重ねている。

### 事業から感じられた問題点

#### 1. 地区内でもタテ割りの役割分担ではなかったか？

地区内には「民生委員」、「民生協力委員」、「福祉委員」、「まち協（健康福祉部会）」等、似た活動を行う役員や組織があるが、それぞれ関係する行政機関等からの指示や依頼に基づき、その範囲での活動を行っており（タテ割りの役割分担）、地区内でのつながり（ヨコのつながり）がなかった。

#### 2. 地区内での情報の共有は？

活動の体系がタテ割りであるがゆえに、行政機関等からの情報も十分に地区内で共有できていなかった。

#### 3. 本来のまち協の役目とは？・自治会の役目とは？

平成 21 年にみたけの里づくり協議会（まち協）が設立し、地域振興や防犯活動、イベント等を行ってきたが、今回の事象を振り返ってみて、そのスタイルで良かったか？

自治会も月一回の例会を開催し、日常の声掛けも行っているが、それで十分だったか？

### 懇話会で検討していること

#### 1. 地区内でもタテ割りの役割分担をヨコに

「民生委員」、「民生協力委員」、「福祉委員」、「まち協（健康福祉部会）」等、本来の目的の再確認と自治会との関係等、地区内の広がるヨコのつながりの必要性和、情報の共有による効果的な活動の展開について協議中。

#### 2. まち協の役目・自治会の役目

地区内全域への呼びかけや懇談会のような調整はまち協が、高齢者への声掛けや訪問といった日常的な活動は自治会や「向こう三軒両隣」などが担う方向で役割分担を検討中（取り組む方法は自治会毎で検討）。

#### 3. その他

検討している内容を地区内に周知する機会として、平成 24 年度畑地区人権・同和研究会「支え愛、助け愛の里づくり」の中で、「地域の課題と自主的な結縁活動をどうつくるか」をテーマにシンポジウムを催した。（H24.10.28）